

所在地：愛媛県宇和島市 選定年月日：平成19年7月26日 面積：8.3ha 選定基準：一(一)

(1) 概要

四国島の西端に当たる宇和島市遊子の水荷浦は、豊後水道(ぶんごすいどう)に向かって延びる三浦半島の北岸から、さらに宇和海(うわかい)及び宇和島湾に向かって分岐する今一つの小さな岬の小集落です。

岬の東南側の急傾斜面には、等高線に沿って小さな石を積み上げて形成された壮大な雛段状の畑地が展開し、特に水荷浦では「段畑」と呼ばれています。

近世・近代を通じてサツマイモの栽培により形成された「段畑」は、宇和海沿岸の風土とも調和して、沿岸におけるイワシ漁や湾内のハマチ養殖業とも深く関連しつつ、農耕を継続的に営むことにより緩やかな発展を遂げた特色のある文化的景観です。

「段畑を守ろう会」や地域の自治会などが中心となって、ジャガイモ栽培を中心に都市農村交流事業が積極的に実施されており、今後の文化的景観の維持・活用についても期待されます。



収穫期を迎えた段畑のジャガイモと海面に浮かぶ養殖筏 (撮影：石崎幸治氏)

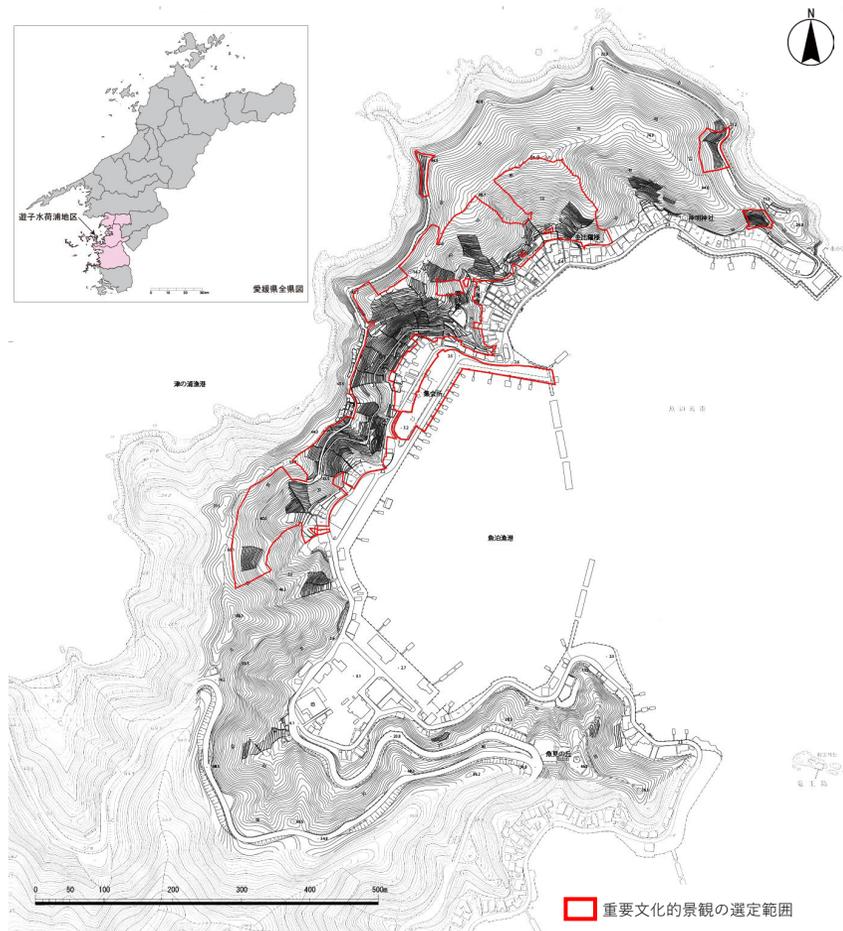


全景



段畑の石積み

（２）選定範囲



- 重要な構成要素：1件
- 景観重要公共施設：4件

（３）選定による効果

遊子水荷浦地区は文化的景観制度の起ち上げとなった平成16~17年度に実施された文化的景観モデル事業の採択を受けた地区の一つでした。それまで景観を活かした地域づくりという視点で、官民協働で取り組んだ実績がなく、いろいろな気づきを得ることが出来ました。

銀行や企業、官公庁からの支援を得て、休耕地の復旧や交流施設の整備を実施し、それに伴い雇用も生まれました。また、バス停留所の新設や地元小学校での3世代交流による総合学習、収穫祭の開催、ジャガイモのブランド化など利便性の向上や活性化の一助となりました。



4月上旬に開催される収穫祭



新設されたバス停

（４）保存活用計画などの基礎情報

- 宇和島の段々畑保存調査報告書（平成18年3月、宇和島の段々畑保存・活用委員会）
- 遊子水荷浦保存活用計画（平成19年3月、宇和島市）
- ホームページ
<https://www.city.uwajima.ehime.jp/site/tosikeikaku/keikankeikaku.html>

(5) 活用事例

事例38-01 ①

地域の食材を活かしたレストランの整備運営と休耕地の復旧

●行政による取り組み

市は、都市部との交流人口の拡大を目的とし、平成20年度から3カ年かけて、農林水産物直売・食材提供供給施設（レストラン）の建設と休耕地の復旧を実施しました。実施にあたっては、農林水産省所管の農山漁村活性化プロジェクト支援交付金を利用しました。このレストランの名称は、段々畑と「だんだん」と、こちらの方言でありがとうという意味の「だんだん」をかけて、『だんだん茶屋』としました。

当初から指定管理者制度による施設運営を計画し、オープン当初から現在に至るまで段畑を守ろう会が運営を担い、遊子地域で一定の雇用を生む結果となりました。

畑地復旧については、水荷浦の成立当初から現在に至るまで集落が営まれているエリアの斜面を対象としました。このエリアは、文化的景観の保存調査において、水荷浦では土地は浜から尾根に向かって短冊状に所有され、畑は、海に面した住居の裏の斜面地から始まり、尾根筋に向けて拡張していったことが明らかとされていることから、意義のある事業となりました。現在、耕地面積は約5ヘクタールにまで復活することができました。



だんだん茶屋



住民協働による施設の仕上げに当たっての修景検討



休耕地の復旧の状況（上：復旧前、下：復旧後）



新設された軌道（乗用モノレール）

① 地域内での
魅力の共有

② 活性化の
目標の共有

③ 地域外への
広報

④ 魅力を引き
出す開発

⑤ 財源と運用

⑥ 人づくり

(5) 活用事例

事例38-01 ②

女性・若者も活躍！段畑と海の幸を活かした特産品などの開発

●住民や団体等による取り組み

「段畑を守ろう会」は、平成12年に結成し、選定前から段畑保全に精力的に取り組み、平成19年にはNPO法人として認定されました。地元耕作者が中心の会で、段畑のオーナー制度の運営、地元公民館と協働での収穫祭の開催、レストランの「だんだん茶屋」と直売所「だんだん屋」の運営、焼酎「段酌」の生産・販売と、その活動は多岐にわたります。

また平成24年から始まった地元漁協女性部の「遊子の台所プロジェクト」では、地元で採れた海産物を使った商品を販売・PR活動に取り組み、平成24年、第51回農林水産祭 水産部門で内閣総理大臣賞を受賞しました。漁村活性化優良事例として全国に紹介されており、中でも開発されたジャガイモを使用したメニューは、キッチンカーによる移動販売で好評を博しています。

加えて、水荷浦にUターンした女性を中心に市内の異業種の若手の方々が、令和4年から休耕地を活用した「クエストファーム」を運営し、予約販売やイベントでの加工品販売、子ども食堂への提供など、今まで地域になかった活動を展開されています。

✓ 農林水産祭 水産部門 内閣総理大臣賞受賞（平成24年度）



段畑を守ろう会によるオーナー制度



青果販売にならないジャガイモを利用した焼酎



遊子の台所プロジェクトのパンフレット



QUEST FARMの取り組み（子ども食堂への提供）

団体等情報： NPO法人段畑を守ろう会
愛媛県漁協協働組合遊子支所
QUEST FARM(UWAJIMA QUEST)

<https://www.danbata.jp/>
<http://www.yusu.jp/>
<https://cs-uq.com/>

- ① 地域内での
魅力の共有
- ② 活性化の
目標の共有
- ③ 地域外への
広報
- ④ 魅力を引き
出す開発
- ⑤ 資源と運用
確保
- ⑥ 人づくり